

## 【研究発表 1】

### あじさいネット TV 会議を利用した遠隔診療

社会医療法人春回会 井上病院 副院長  
吉嶺 裕之

日本は超高齢社会に突入し、また医療財源が厳しくなっている。ICT を活用した遠隔医療は、へき地や離島居住者の専門医や医療機関へのアクセスを向上させ、医療従事者の業務を効率化させる可能性を持つ。

あじさいネットには LiveOn の VPN ネットワーク内導入によるテレビ会議システムが組み込まれている。その特徴は、直接電子カルテ端末からテレビ会議システムに入ることができる、極めてセキュリティが高い、電子カルテの共有が可能であることである。

我々は現在このシステムを利用し二種類の診療スタイルを試みている。一つは専門医とかかりつけ医および患者間での遠隔診療 (DtoD/P) の実施である。離島から来院し終夜睡眠ポリグラフ検査を受けた患者に対し、テレビ会議システムを利用し、かかりつけ医と患者に対して検査結果説明を行うことで、患者の負担軽減を図っている。もう一つは退院前カンファランスでの利用である。在宅医は自院のパソコン端末よりテレビ会議システムに参加し、病院主治医より電子カルテ内容 (病歴、検査データ、画像、熱型表など) の説明を受け、参加者間での双方向性のコミュニケーションを行うことが可能である。多忙な在宅医にとって、紹介した患者の退院前カンファランス時にわざわざ当該病院を訪問する必要はなく、必要な事項を直接主治医に尋ねることで効率的な情報収集が可能となる。

当日は、会場の皆様と地域ネットワークシステムを活用した遠隔診療の活用や問題点についてディスカッションを行いたい。